

低コスト森林作業システム研修会（集材）開催

去る10月14・15日の2日間、低コスト森林作業システム研修会（集材）を開催しました。

7月に開催した研修会では、技術者の養成を目的として、実際に研修生がバックホウを操作し、四万十式作業路の開設を行いました。

今回は、その開設した作業路を活用し、高性能林業機械を使った効率的な間伐材の集材・運搬方法の習得することを目的に行いました。

林業機械メーカーの協力により、最新の高性能林業機械を使用した研修となり、参加者から熱心に、システムや機械能力についての質疑が行われました。

地形や林況に適した機械の組合せや作業路の配置、システムの問題点を共有することなどにより工夫を重ね、今後も山形に適した低コスト森林作業システムの普及・促進に努めていきます。



肥後氏からシステムの考え方を学ぶ



2日間で80名を超える参加者



メーカーから機種の説明



ウインチ付グラブによる集材



フォアードによる積込



現地に適した機械の組合せが必要

平成20年度標記研修会の詳細は以下のとおりです。

場 所：寒河江市大字田代 地内（林道岩木田代線沿線・林業公社造林地）

主 催：山形県・東北森林管理局山形森林管理署・山形県林業労働力確保支援センター

講 師：林野庁国有林野部業務課企画官 肥後 賢輔 氏

内 容：（14日）講義「低コスト作業システムへの取組みについて」

（15日）実演 低コスト集材システム実演

参集範囲：森林組合・素材生産業者・建設業者・市町村・県・国関係者ほか